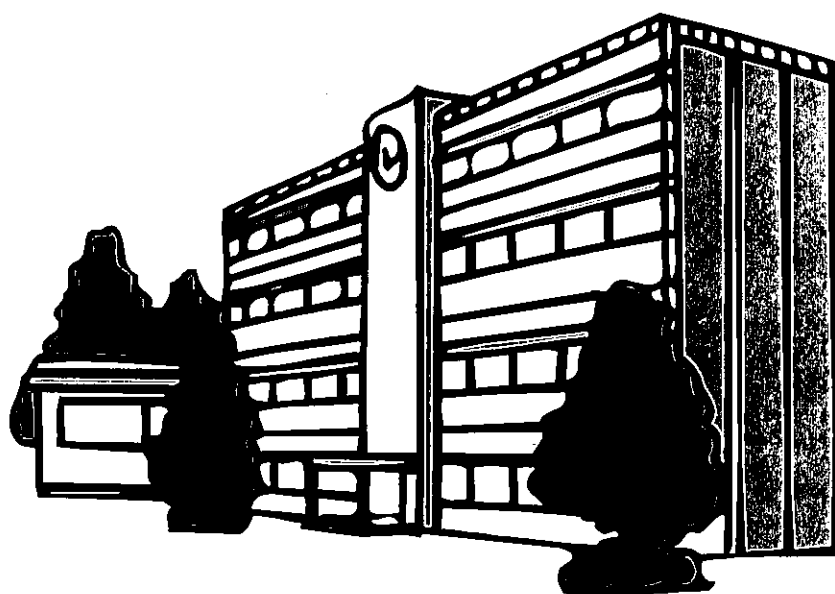


平成28年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の

点検及び評価報告書



南富良野町教育委員会

～ 目 次 ～

1	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について・・・	1
2	教育委員会会議等の開催状況	2～4
3	教育委員の活動状況	5～7
4	児童生徒の活動状況（部活動等）	8～11
5	教育委員会の予算・決算の状況	12
6	教育行政執行方針の概要	13～14
7	教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事業一覧	15～16
8	教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価の方法	17～19
9	教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧	20～30
10	前年度点検・評価対象事務・事業の状況	31～32
11	学識経験者	33
12	教育委員会の組織	34

1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について

(1) 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、同法第 26 条の規定に基づき、平成 28 年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

(2) 点検及び評価の対象

平成 28 年度の「教育行政執行方針」に基づき教育委員会が実施した主な事務・事業を対象として、自己点検及び自己評価を行います。

又、教育委員会や各種審議会の会議の開催状況や教育委員の活動状況、児童生徒の部活動等における活動状況なども評価の対象としています。

(3) 点検及び評価の方法

(ア) 点検及び評価の観点

教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、事務・事業等については、事業の実績や成果等から必要性、有効性、効率性の観点から点検及び評価を行い、課題等を踏まえた今後の取組の方向性等を明らかにしています。

(イ) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った教育委員会の活動状況や事務・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

2 教育委員会会議等の開催状況

平成28年度における教育委員会会議及び教育委員会が所掌する各種審議会等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員会会議開催状況

①教育委員会定例会

区 分	期 日	付 議 事 件
第4回	平成28年5月20日	・専決処分の承認を求めることについて (事務局組織の一部改正 「意義の申立」を「審査請求」に) ・専決処分の承認を求めることについて (学校管理規則の一部改正 「営利企業の従事」を「営利企業への従事」等)
第5回	平成28年5月27日	・平成28年度南富良野町教育行政執行方針について ・平成28年度教育費等の補正予算について ・平成28年度要保護準要保護児童生徒の認定について ・南富良野町社会教育委員の委嘱について ・南富良野町スポーツ推進委員の委嘱について ・平成28年度学校職員の人事について
第6回	平成28年7月7日	・南富良野町教育行政評価委員の委嘱について ・南富良野町立学校評議員の委嘱について
第7回	平成28年7月27日	・平成28年度教育費等の補正予算について
第8回	平成28年10月12日	・専決処分の承認を求めることについて (災害復旧関係補正予算) ・南富良野町立高等学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定について ・全国学力学習状況調査について ・南富良野高等学校関係について ・平成28年度学校職員の人事について
第9回	平成28年12月9日	・平成28年度教育費等の補正予算について
第1回	平成29年1月19日	・南富良野高等学校生徒確保に向けた支援制度について ・平成28年度全国学力学習状況調査結果について
第2回	平成29年2月28日	・平成28年度教育費等の補正予算について ・南富良野町立高等学校の通学自動車の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

2 教育委員会会議等の開催状況

		・教育行政執行方針について ・平成 29 年度教育等の補正予算について
第 3 回	平成 29 年 3 月 28 日	・平成 29 年度教育委員会の人事について ・平成 29 年度学校職員の人事について

②教育委員会臨時会

区 分	期 日	付 議 事 件
第 1 回 臨時会	平成 28 年 9 月 30 日	・南富良野町教育委員会委員長の選挙について ・南富良野町教育委員会委員長職務代理者の指定について
第 2 回 臨時会	平成 28 年 11 月 16 日	・南富良野町教育委員会教育長職務代理者の指名について ・南富良野町スクールバスの設置及び管理に関する条例の改正について (終点位置の変更)

教育委員会会議は、原則として毎月 1 回、定例会又は臨時会を開催することとしており、平成 28 年度は定例会 9 回、臨時会 2 回の開催となり、教育に関する様々な案件について検討し、議論・議決を行いました。

会議については、開催時間を夜間に設定するなど、教育委員会の合議制の観点から全ての委員が出席した中で各種議題の審議を行うよう努めております。

今後においても、教育を取り巻く課題等に対応した施策の推進に向けて、十分な議論や審議を行っていく必要があると考えています。

(2) 各種委員会会議等開催状況

①南富良野町総合教育会議

区 分	期 日	協 議 事 項
開 催 な し		

①いじめ対策協議会

区 分	期 日	協 議 事 項
開 催 な し		

2 教育委員会会議等の開催状況

②社会教育委員会議

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	平成 28 年 7 月 21 日	・社会教育について ・平成 28 年度社会教育・社会体育・公民館分館事業計画について ・子ども朝活事業について ・社会教育委員研修会等の参加について
第 2 回	平成 29 年 3 月 27 日	・平成 28 年度社会教育・社会体育・公民館事業実施報告について ・平成 29 年度社会教育・社会体育・公民館事業計画について ・幾寅やわらぎ公園パークゴルフ場について

③スポーツ推進委員会議

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	平成 29 年 3 月 28 日	・平成 28 年度社会体育事業実施報告について ・平成 29 年度社会体育事業について ・スポーツ大会（ミニバレーボール大会）の方向性について

④文化財審議会

区 分	期 日	協 議 事 項
開 催 な し		

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が平成 27 年 4 月 1 日に施行され、全ての地方公共団体において総合教育会議の設置と教育大綱の策定が求められたことから、南富良野町教育委員会としても、平成 27 年度に総合教育会議を設置し、教育大綱を策定するとともに、平成 27 年度には新たに、いじめ防止等のための推進を図るため、附属機関としていじめ対策協議会も設置しています。

しかしながら、平成 28 年度については台風による災害が発生し、その復旧作業等におわれたこともあり、両会議については開催することができませんでした。今後は両会議の趣旨及び目的を果たし、定期的開催について努力してまいります。

又、教育委員会に設置している主な審議機関等では様々な議題について審議をしておりますが、平成 28 年度においては開催回数の減や開催できなかった会議もありました。

今後は、各種意見や指摘を踏まえた業務を執行を図るため、定期的な開催に努めます。

3 教育委員の活動状況

平成 28 年度における教育委員の活動状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員の活動実績

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 28 年 4 月 4 日	平成 28 年度教職員辞令交付式及び着任式	役場大会議室
平成 28 年 4 月 6 日	南富良野西小学校開校式	南富良野西小学校
平成 28 年 4 月 7 日	南富良野小学校入学式	南富良野小学校
	南富良野西小学校入学式	南富良野西小学校
	南富良野中学校入学式	南富良野中学校
平成 28 年 4 月 8 日	南富良野高等学校入学式	南富良野高等学校
平成 28 年 4 月 10 日	千里大学始業式	保健福祉センター
平成 28 年 4 月 12 日～ 平成 28 年 4 月 13 日	管内教育委員会連合会教育長部会 第 6 地区教科用図書採択教育委員会協議会	旭川市
平成 28 年 4 月 15 日～ 平成 28 年 4 月 16 日	管内小中学校校長会議	旭川市
平成 28 年 4 月 16 日	南富良野西小学校見学会	南富良野西小学校
平成 28 年 4 月 20 日	管内教育委員会連合会総会	旭川市
平成 28 年 4 月 21 日	北海道町村立高等学校自治体連絡協議会	札幌市
平成 28 年 4 月 22 日～ 平成 28 年 4 月 23 日	管内小中学校教頭会議	旭川市
平成 28 年 4 月 25 日	町 PTA 連合会総会	南富良野中学校
平成 28 年 4 月 27 日	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	旭川市
平成 28 年 5 月 2 日	富良野沿線教育長会議	富良野市
平成 28 年 5 月 11 日～ 平成 28 年 5 月 14 日	全国町村会教育長会定例会議	東京都
平成 28 年 5 月 19 日	南富良野町特別支援教育連絡協議会	南富良野中学校

3 教育委員の活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 28 年 5 月 21 日	町民力ヌー教室	かなやま湖
平成 28 年 5 月 29 日	南富良野中学校体育祭	南富良野中学校
平成 28 年 5 月 31 日	広域連合教育委員会	富良野市
平成 28 年 6 月 1 日	新着任教諭町内施設見学	町内一円
平成 28 年 6 月 5 日	南富良野小学校運動会	南富良野小学校
平成 28 年 6 月 8 日	上川管内コンプライアンス確立会議	旭川市
平成 28 年 6 月 8 日	富良野地区中体連陸上競技大会	富良野市
平成 28 年 6 月 11 日	南富良野西小学校運動会	南富良野西小学校
平成 28 年 7 月 5 日～ 平成 28 年 7 月 6 日	上川管内教育長会議	旭川市
平成 28 年 7 月 9 日～ 平成 28 年 7 月 10 日	第 53 回北海道市町村教育委員研修会	札幌市
平成 28 年 7 月 21 日	上川教育研修センター教育委員会	旭川市
平成 28 年 7 月 25 日	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	旭川市
平成 28 年 8 月 25 日	富良野沿線教育長会議	富良野市
平成 28 年 9 月 11 日～ 平成 28 年 9 月 12 日	上川管内教育長部会研修会	旭川市
平成 28 年 9 月 29 日	広域連合教育委員会	富良野市
平成 28 年 12 月 10 日	南富良野中学校学校祭	南富良野中学校
平成 28 年 12 月 22 日	上川管内教育長会議	旭川市
平成 28 年 12 月 26 日～ 平成 28 年 12 月 28 日	子ども朝活事業	放課後児童クラブ室
平成 29 年 1 月 8 日	平成 29 年南富良野町成人式	南富良野小学校
平成 29 年 1 月 29 日	レディース・男子ミニバレーボール大会	町民体育館

3 教育委員の活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 29 年 2 月 14 日	上川南部教育委員会教育委員研修会	情報プラザ
平成 29 年 2 月 16 日	教育推進計画策定委員会	役場大会議室
平成 29 年 2 月 22 日	高校プロジェクト会議	役場大会議室
平成 29 年 2 月 28 日	上川管内教育長ブロック会議	富良野市
平成 29 年 3 月 1 日	南富良野高等学校卒業式	南富良野高等学校
平成 29 年 3 月 15 日	南富良野中学校卒業式	南富良野中学校
平成 29 年 3 月 17 日	南富良野小学校卒業式	南富良野小学校
平成 29 年 3 月 18 日	南富良野西小学校卒業式	南富良野西小学校
平成 29 年 3 月 24 日	千里大学卒業式	情報プラザ
平成 29 年 3 月 27 日～ 平成 29 年 3 月 28 日	上川管内教育長会議	旭川市

教育委員会には、地域全体の教育、学術、文化、スポーツの振興を図るという社会的な使命があり、総合的な視点に立って活動していく必要があります。

教育委員は、会議における審議以外に教育現場を訪問することや、各種行事や研修会等に参加することで、教育現場の状況の把握及び教育委員としての能力向上に努めています。

今後も教育現場の訪問や研修会等に積極的に参加し、教育に関する課題の把握に努め教育委員会に期待される役割、機能を十分果たしていくよう活動して参ります。

4 児童生徒の活動状況（部活動等）

平成 28 年度における児童生徒の少年団・部活動における活動状況は、次のとおりです。

（1）少年団活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
野球スポーツ少年団	20人	○第 10 回留萌セントラルクリニックカップ争奪少年野球大会 ○スポーツショップ MINO 杯少年野球大会 ○全日本学童野球大会富良野支部予選会 ○全道少年軟式野球富良野支部大会 ○富良野沿線少年野球リーグ戦 ○第 20 回大和ユニフォーム旗争奪少年野球大会 ○全道少年軟式野球大会 ○太陽グループ杯争奪全道少年野球選抜富良野大会 ○富士スポーツ杯争奪少年大会 ○第 8 回学童野球ドリームフェスティバル 2016
バレーボールスポーツ少年団	11人	○ファミリーマートカップ第 36 回全日本バレーボール小学生大会富良野地区予選会 ○三野スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○富士スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○道新カップバレーボール大会富良野地区予選会 ○富良野地区小学生バレーボール大会 ○富良野市スポーツ少年団本部小学生バレーボール大会 ○スポーツショップ三野杯小学生バレーボール大会
カーリングスポーツ少年団	18人	○おさだグループ杯 U-12 カーリング大会 2015 ○ゆっく・南ふらのカップカーリング大会 ○北海道新聞社杯南富良野ジュニアカーリング選手権大会 ○第 25 回北海道ジュニアカーリング大会 ○妹背牛ロータリークラブ杯ジュニアカーリング大会 ○第 4 回フレンドシップジュニアカーリング大会
スキースポーツ少年団	16人	○道新杯 ○三笠スラローム大会 ○ハウスカップ道東予選 ○スーパースポーツゼビオカップ ○サホロジャイアントスラローム大会 ○ハウスカップ道央予選

4 児童生徒の活動状況（部活動等）

		☐ ふらのスキー祭りジャイアントスラローム大会 ☐ かなやま湖ジュニアGS大会 ☐ テイネスラローム大会 ☐ 占冠ジュニアスキー大会 ☐ 連盟会長杯兼セルジュラング杯 ☐ 朝里スラローム・ジャイアントスラローム大会 ☐ 和寒東山ジャイアントスラローム大会 ☐ カムイスーパージャイアントスラローム大会 ☐ 全道かもい岳ジュニア大会 ☐ スポニチ杯 ☐ ハウスカップ決勝大会 ☐ 全道ジュニアアルペンスキー和寒大会 ☐ 木村公宣杯 ☐ ジュニアオリンピック
--	--	--

（2）南富良野中学校部活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
野 球 部	17人	☐ 北空知中学校野球大会春季教育リーグ ☐ 富良野沿線中学軟式野球大会 ☐ 全日本少年軟式野球支部大会 ☐ 中体連富良野地区軟式野球大会 ☐ ロータリークラブ杯中学野球大会 ☐ 全日本少年秋季軟式野球富良野支部予選
卓 球 部	13人	☐ 富良野沿線春季卓球大会 ☐ 道新杯争奪卓球大会 ☐ 中体連富良野地区卓球大会 ☐ ニッタク杯争奪卓球大会 ☐ 金井杯富良野地区卓球大会 ☐ 北海道卓球選手権（カデットの部） ☐ 紅葉杯争奪卓球大会 ☐ 会長杯争奪卓球大会 ☐ 沿線中学新人戦兼 TSP 杯卓球大会 ☐ かわむら杯争奪卓球大会 ☐ 小林スポーツ杯争奪卓球大会 ☐ 友愛杯争奪卓球大会

4 児童生徒の活動状況（部活動等）

ソフトテニス部	9人	○春季富良野沿線中学生ソフトテニス大会 ○富良野沿線中学生ソフトテニス大会 ○第34回真壁杯中学生ソフトテニス大会 ○第50回北海道中学選手権ソフトテニス大会 ○中体連富良野地区ソフトテニス大会 ○上川管内代表決定戦ソフトテニス大会 ○第10回U-14道北カップソフトテニス選考大会兼第8回道北地区中学生国民体育大会予選 ○富良野沿線中学生ソフトテニス新人戦 ○第35回スポーツハウス杯ソフトテニス大会 ○富良野沿線中学生インドアソフトテニス大会 ○第4回中学管内シングルス大会 ○中学校指導者協議会杯中学生インドアソフトテニス大会 ○三野スポーツ杯中学生インドアソフトテニス大会
バレー部	4人	○第40回協会杯富良野地区中学校バレーボール大会 ○第33回くまげら杯中学校親睦バレーボール大会 ○中体連富良野地区バレーボール大会 ○富良野Vリーグ ○体育の日記念バレーボール大会 ○富良野地区中学校新人戦バレーボール大会 ○ALL KAMIKAWA 中学バレーボール大会 ○富良野地区中学校選抜バレーボール大会 ○mino sports CUP 中学校バレーボール大会 ○富士スポーツ杯中学校親睦バレーボール大会
吹奏楽部	18人	○第52回旭川吹奏楽祭 ○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 ○北海道アンパルコンクール旭川地区予選 ○第27回富良野地区吹奏楽祭
陸上部（季節部）	2人	○富良野地区中学校陸上競技大会
剣道部（季節部）	2人	○中体連富良野地区剣道大会 ○上川代表決定戦中体連剣道大会 ○上川管内中体連剣道大会新人戦
スキー部（季節部）	4人	○中体連富良野地区スキーアルペン大会 ○北海道中学生スキー大会アルペン競技

4 児童生徒の活動状況（部活動等）

（3）南富良野高等学校部活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
バトミントン部	11人	○高体連予選 ○新人戦予選
卓球部	11人	○高体連予選 ○新人戦予選 ○国体道予選
カヌー部	7人	○高体連全国大会 ○国体全国大会 ○道カヌースプリント短距離選手権大会
カーリング部	10人	○道央ブロックジュニア大会 ○道央ブロック選手権大会 ○全道高校選手権大会 ○全国高校選手権大会 ○南富良野ジュニア大会
吹奏楽部	10人	○学校祭における発表 ○高文連上川支部音楽発表大会 ○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 ○オータムコンサート ○富良野地区吹奏楽祭
資格取得部	3人	○日本語ワープロ検定 ○全経簿記能力検定 ○情報処理技能検定 ○硬筆書写技能検定 ○実用英語検定 ○漢字能力検定 ○語彙・読解力検定 ○数学技能検定

（4）部活動等の活動状況について

教育委員会としては、児童生徒の体力の向上及び運動能力の増進並びに文化活動の助長を図ることを目的として少年団活動に対する補助金の交付や中学校及び高等学校における部活動に対する財政的支援を行っております。

今後も、児童生徒が健康で明るく活気に満ちた生活を送ることのできる環境づくりに取り組んでいく必要があると考えており、引き続き体育・文化活動に対する支援を行って参ります。

5 教育委員会の予算・決算の状況

平成 28 年度における教育委員会予算・決算の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

費 目	平成 28 年度	
	予 算 額	決 算 額
一 般 会 計 総 額	6, 8 4 1, 9 9 7	6, 7 6 2, 2 3 8 (うち繰越明許費1, 5 6 3, 5 0 6)
1 0 款 教育費	3 7 5, 3 3 1	3 6 6, 9 8 9
1 項 教育総務費	2 8, 9 1 7	2 7, 6 4 6
1 目 教育委員会費	1 1, 6 7 7	1 1, 2 3 8
2 目 スクールバス運行費	1 7, 2 4 0	1 6, 4 0 8
2 項 小学校費	1 0 4, 6 0 5	1 0 2, 1 3 4
1 目 学校管理費	1 0 4, 6 0 5	1 0 2, 1 3 4
3 項 中学校費	2 4, 7 5 4	2 3, 1 7 8
1 目 学校管理費	2 4, 7 5 4	2 3, 1 7 8
4 項 高等学校費	1 6 1, 3 5 0	1 5 9, 6 7 0
1 目 高等学校総務費	1 2 2, 5 4 1	1 2 2, 2 1 6
2 目 学校管理費	3 8, 8 0 9	3 7, 4 5 4
5 項 社会教育費	3 4, 9 2 7	3 3, 9 1 1
1 目 社会教育総務費	1 6, 2 2 7	1 5, 4 0 2
2 目 公民館費	1 8, 7 0 0	1 8, 5 0 9
6 項 保健体育費	2 0, 7 7 8	2 0, 4 5 0
1 目 保健体育総務費	2 0, 7 7 8	2 0, 4 5 0
1 5 款 災害復旧費	2 6 8, 8 8 7	2 6 8, 2 3 6
1 項 災害復旧費	2 6 8, 8 8 7	2 6 8, 2 3 6
6 目 教育施設災害復旧費	2 6 8, 8 8 7	2 6 8, 2 3 6

平成 28 年度の一般会計における教育費の占める割合は、予算額・決算額とも 9.4%となっています。

6 教育行政執行方針の概要

平成 28 年度の南富良野町教育行政執行方針では、各分野ごとの基本目標を示しています。

平成 27 年 4 月より新たな「教育委員会制度」がスタートされ、3 つの改正がされました。

- ① 首長が招集する「総合教育会議」の開催
- ② 「教育大綱」の策定
- ③ 教育委員長と教育長の一本化

今後は、「教育大綱」と「第 5 次総合計画」に示された教育目標と整合を図りながら、南富良野町の教育の推進に努めてまいります。

○学校教育

それぞれの校種や地域とのつながりなど、特色を出しながら教育目標を掲げ取り進める。

- ① 確かな学力の向上を図る学習環境の充実
 - ・アクティブラーニングの実践、チームティーチング体制の維持
 - ・タブレットなどの ICT 機器の活用
- ② 健やかな心身の育成
 - ・日常的に運動のできる時間の保障
 - ・体力向上プランの作成
 - ・カヌー、カーリング、スキーなどの授業取入れ
- ③ 安全・安心な学校づくり
 - ・給食業務の安全な供給体制の推進
 - ・学校給食費の助成の継続
 - ・いじめの未然防止を最大目標として根絶を図る。

○高等学校

小さな学校だからできる授業をめざし、高校全体で様々な取組を展開し地域とともに歩む高校をめざす。

- ① 生徒個々に実態に応じた多様な指導
- ② 学習支援員や特別支援員の配置、土曜授業の取組み
- ③ 検定料・受講料の補助、通学費の助成
- ④ 国際交流派遣事業、イングリッシュキャンプの実施
- ⑤ 学校行事の一般参加型とし、学校を開放する。
- ⑥ 高大連携の推進
- ⑦ カヌー部・カーリング部の更なる強化

6 教育行政執行方針の概要

○社会教育

本町の豊かな自然や歴史・文化などを活用し、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、子どもから高齢者まで健康で生きがいある豊かな人生を送り、学習の効果が豊かな地域づくりに活かされる生涯学習の構築を推進する。

① 青少年の健全育成

- ・親と子の触れ合い事業の実施
- ・沖縄県本部町との親善交流事業の継続

② 成人教育

- ・幅広い学習活動の提供に努めるほか、各種団体の育成と自主的な活動の支援
- ・千里大学については、支援員を引き続き委嘱し、学習内容の充実に配慮
- ・英会話教室の継続

③ 芸術文化の振興

- ・団体・サークルへの支援の継続して行い、鑑賞事業の充実
- ・読み聞かせ事業の推進、利用者ニーズに合った図書の充実
- ・公民館事業を活発化させ、地域の教育力を高める。
- ・住民自主企画活動支援事業の継続
- ・郷土学習の推進

④ 体育・スポーツの振興

- ・体育関係団体などの連携と協力をいただき、各種スポーツ教室や大会の開催
- ・アスリート派遣補助金の継続
- ・スポーツ少年団指導者の質的向上を目的とする研修会

7 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

平成 28 年度の南富良野町教育行政執行方針で示された各分野ごとの基本目標に基づき実施した次の事務・事業を点検・評価の対象としています。

番号	事業区分	事 務・事 業 名
a-1	学校教育	南富良野小学校
a-2	学校教育	南富良野西小学校
a-3	学校教育	南富良野中学校
a-4	学校教育	体力プランの作成
a-5	学校教育	耐震化事業
a-6	学校教育	食の安全
a-7	学校教育	食育
a-8	学校教育	給食費の助成
a-9	学校教育	読書活動の充実
a-10	学校教育	体罰・いじめ対策
b-1	高等学校	類型別学習
b-2	高等学校	習熟度別学習
b-3	高等学校	情報教育
b-4	高等学校	語学学習
b-5	高等学校	個々の実態に応じた多様な指導
b-6	高等学校	学習支援員の配置
b-7	高等学校	特別支援員の配置
b-8	高等学校	検定受験料の補助事業
b-9	高等学校	通学費助成事業
b-10	高等学校	国際交流派遣事業
b-11	高等学校	学校行事の一般参加型による実施
b-12	高等学校	大学との連携
b-13	高等学校	生徒確保
c-1	生涯学習	青少年に対する活動機会の提供
c-2	生涯学習	友好の町「沖縄県本部町」との親善交流事業
c-3	生涯学習	成人教育事業
c-4	生涯学習	千里大学（高齢者大学）事業
c-5	生涯学習	英会話教室
c-6	生涯学習	芸術文化の振興
c-7	生涯学習	公民館図書室
c-8	生涯学習	公民館分館事業

7 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

c-9	生涯学習	住民自主企画活動支援事業
c-10	生涯学習	郷土資料室
c-11	生涯学習	スポーツ教室
c-12	生涯学習	スポーツ大会
c-13	生涯学習	アスリート補助金
c-14	生涯学習	スポーツ少年団活動

8 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価の方法

教育行政執行方針に位置付けられて実施した主な 42 の事務・事業等について、「必要性」「有効性」「効率性」の 3 つの観点から自己点検及び自己評価を行いました。

また、評価の結果から事務・事業の課題等を踏まえた今後の方向性及び改善すべき点等を明らかにいたします。

(1) 点検及び評価

①点検項目と観点

・事務事業の点検、評価にあたっては、次の区分に掲げる観点から行います。

項 目	評価の観点	評 価 の 観 点 の 主 な 内 容
必要性	事業の成果	・ 十分な成果が期待できる事業か ・ 事業目的に即した事業か
	事業の妥当性	・ 時代に適合した事業であるか ・ 継続事業の場合、継続の必要性はあるか ・ 拡大又は縮小する必要はないか ・ 他に類似した事業はないか
	行政関与の必要性	・ 行政で関与すべき事業であるか ・ 行政でなければできない事業か
有効性	企画内容	・ 事業目的達成のための有効な事業内容となっているか
	実施方法	・ 成果を向上させるための有効な事業手法となっているか ・ 他の関係機関との連携を図っているか
効率性	実施主体の妥当性	・ 他の実施主体で行った方が効率的でないか
	経済性	・ 経済的な手法となっているか ・ 費用対効果を意識した事業となっているか ・ 受益者負担は適切であるか

②点検結果の評価区分

・各点検項目について a～e の 5 段階評価を行い、評価区分により配点します。

ア 必要性に関する項目

区分	評定内容	配点	区分	評定内容	配点	区分	評定内容	配点
a	特に高い	30	b	高い	20	c	ふつう	10
d	やや低い	5	e	低い	0			

8 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価の方法

評価の方法	必要性の評価にあたっては、行っている事務・事業が、今の時代に本当に必要なのか。特に継続事業については、開始当時は必要とされていた社会的背景そのものが現在では大きく変化し時代遅れになっていないか、今の時代的ニーズに適合しているか、又、時代的ニーズがある事務・事業であってもその仕事を行政で行うべきか、民間と行政の役割分担を踏まえ、それらの観点から総合的に点検・評価します。
-------	--

イ 有効性に関する項目

区分	評定内容	配点	区分	評定内容	配点	区分	評定内容	配点
a	特に高い	35	b	高い	25	c	ふつう	15
d	やや低い	10	e	低い	0			
評価の方法	有効性の評価にあたっては、必要性が認められる事務・事業であっても、その事業の実施方法が目的を達成するための有効な手段となっていないかもしれません。成果をあげるための有効な実施手法となっているかの観点から総合的に点検・評価します。							

ウ 効率性に関する項目

区分	評定内容	配点	区分	評定内容	配点	区分	評定内容	配点
a	特に高い	35	b	高い	25	c	ふつう	15
d	やや低い	10	e	低い	0			
評価の方法	効率性の評価にあたっては、必要性が認められる事務・事業であっても、無駄があってはなりません。無駄を排除しながら効率的に事業を実施しているかの観点から総合的に点検・評価します。							

③点検対象事務・事業の総合評価

区分	合計点数	評価内容
A	90 点以上	適正に実施している
B	60 点～89 点	概ね適正に実施している
C	40 点～59 点	やや適正にかける
D	40 点未満	不適正である
評価の方法	上記の「必要性」「有効性」「効率性」の3つの観点から行った点検・評価の結果から総合的に導き出された各項目の合計点数により、実施した事務・事業の適正度をA～Dの4段階で評価します。	

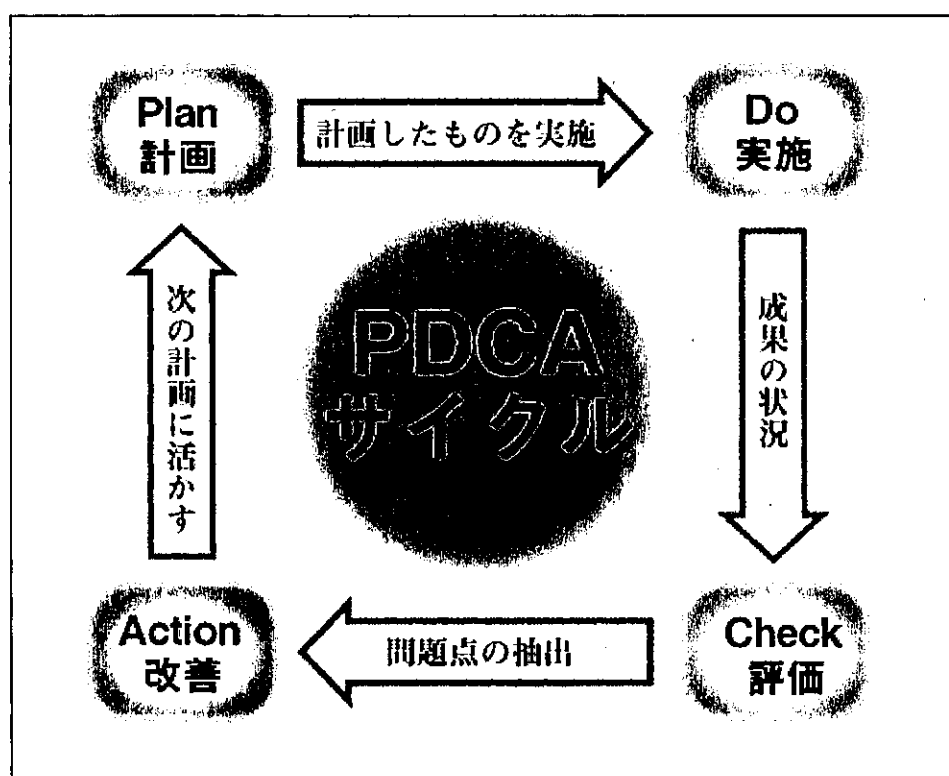
8 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価の方法

(2) 今後の方向性等

①点検・評価事務・事業の今後の方向性

・点検・評価の結果等からⅠ～Ⅳにより点検事務・事業の今後の方向性を示します。

区分	方向性	方 向 性 の 内 容
Ⅰ	継 続	今後も事業を継続し実施する。
Ⅱ	見直し	有効性、効率性を見直し、事業を継続する。
Ⅲ	廃止、休止	社会的必要性が認められないので、事業を廃止又は休止とする。
Ⅳ	完 了	事業目的を遂行したので、完了とする。



9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

区分	学校教育	基本目標 ①	平成 28 年度は学校の統廃合も一定程度終了し、小学校 2 校、中学校、高等学校 1 校の計 4 校で学校教育を 実践していきます。各学校では、それぞれの校種や地域とのつながりなど、特色を出しながら教育目標を掲げ、 学校運営を適宜取り進めてまいります。					
No	事業名	事業目標	点検結果	課題・問題点等	評価委員の意見等	今後の方向性及びその方策等		
1	南富良野小学校	確かな学 力の向上	総合 評価	・土曜授業やチー ム・イテンガ授業、少人 数授業等を行い、 学習面では授業 に活気が生まれ てきたが、生活習 慣や学習習慣に ついては一層の 定着が必要であ る。 ・従来のパソ コン機能に加え、タ ブレットとしての機 能を児童へ指導す るためには、教員 の研修等が必要で ある。	教員の研修時間の 確保できる体制づく りをお願いしたい。 生活習慣や家庭学 習の定着は保護者の 協力が必要	方向性	I	継続
			A			・生活習慣、学習習慣の定着に 向け、保護者の協力を得ながら、 学校生活のみならず家庭生活に おいても体力づくりや生活習 慣・学習習慣づくりを図る。 ・タブレットパソコンの活用につい ては、児童が学習意欲を高め、主 体的に学ぶ力を育てるために教 員の更なる研修が必要となる。 教育委員会としては研修の場を 設け、各教員へ情報の共有を図 る。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
			a					
2	南富良野西小学校	確かな学 力の向上	総合 評価	・従来のパソ コン機能に加え、タ ブレットとしての機 能を児童へ指導す るためには、教員 の研修等が必要で ある。 ・H28 に 2 校を 統合して開校し た西小学校の教 育活動について、 CS 等の活用 により概ね保護者、 地域住民に対し て理解を図られ たが、学校行事等 の精選や基本的 な生活習慣の徹 底などの課題が ある。	教員の研修時間の 確保できる体制づく りをお願いしたい。	方向性	I	継続
			A			・タブレットパソコンの活用につい ては、児童が学習意欲を高め、主 体的に学ぶ力を育てるために教 員の更なる研修が必要となる。 教育委員会としては研修の場を 設け、各教員へ情報の共有を図 る。 ・町内唯一のCS導入校であり、 この機能を十分に活用し、子 どもたちに生きる力を身につける ために、学校として支援・信頼 され、期待される教育活動を推 進する。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
			a					
3	南富良野中学校	確かな学 力の向上	総合 評価	・土曜授業を活用 して開かれた学 校、信頼される学 校づくりの推進 を目指したが、部 活動や大会等 により土曜授業日 を設けるのが難 しい。	教員の研修時間の 確保できる体制づく りをお願いしたい。 土曜授業について は、部活動との関係か ら難しいので、今の授 業を生徒にわかりや すいものする努力も 必要	方向性	I	継続
			A			・土曜授業の活用により、開か れた学校、信頼される学校づく りの推進をより一層図る。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
			効率性					
			b					

9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

4	体力プランの作成	健やかな心身の発達・育成	総合評価	・本町の特徴的なカヌー、カーリング、スキー授業を実施し、高い教育効果を得ている、今後も継続した実施による体力づくりが必要である。	体力を養成する時間を確保するとともに、体験できる場がある限り継続して実施してほしい。	方向性	I	継続
			A			・本町の子どもたちが豊かな心や健やかな体を育成するため、本町の特色を生かした体験活動を計画的に積ませることは重要である。今後も発達に応じて体験活動を行い体力づくりを図る。		
			必要性					
			b					
			有効性					
			a					
			効率性					
			a					
5	耐震化事業	安全・安心な学校づくり	総合評価	・小中学校校舎の耐震化整備は完了したものの、未実施校の高等学校校舎については、早期実施に向け耐震診断を行う予定である。	生徒数の減少などの問題はありますが、早急な対応を願います。	方向性	I	継続
			A			・未実施となっている高等学校校舎については、平成 29 年度耐震診断を行い、改修を要する結果となった場合は、財源確保を検討し改修する。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
			効率性					
			a					
6	食の安全	安心・安全な学校づくり	総合評価	・給食センターとして、積極的なアンケート調査を実施するなどして、きめ細かい対応が必要である。	アレルギー調査も必要だが、衛生面においても気を配り安全体制の確保をお願いします。	方向性	I	継続
			A			・児童生徒に対する食品アレルギーの調査を行うことで、特異体質の児童生徒を把握し、各学校へ情報提供を行い給食の安全体制を強化する。		
			必要性					
			b					
			有効性					
			a					
			効率性					
			a					

7	食育	安心・安全な学校づくり	総合評価	・南富良野中学校では、栄養教諭による食育授業が実施できず、給食と一緒に食べながらの指導となっている。 ・拠点校である南富良野小学校での食習慣改善指導が多くなる。	各学校との連携を図り、偏りのない指導を目指していただきたい。 家庭科の授業等での指導も検討してはどうか。	方向性	I	継続	・生活の基盤である食事の大切さを伝える食育授業、食習慣の改善指導の重要性の理解を深め、栄養教諭が各学校を訪れる機会を増やすにあたり、南富良野西小学校、南富良野中学校への働きかけが必要である。 ・食材の安全性の観点から北海道産食材の消費について学習する機会を設ける
			A						
			必要性						
			b						
			有効性						
			a						
			効率性						
			a						
8	給食費の助成	安心・安全な学校づくり	総合評価	・児童生徒保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援も図られている。	継続していただきたいが、当たり前にならないためにも、保護者に対して助成制度に関する啓発も必要	方向性	I	継続	・児童生徒保護者の経済的負担軽減が図られ、子育てが図られるとともに、少子化対策としても効果が期待できることから、今後も継続していく。
			A						
			必要性						
			a						
			有効性						
			a						
			効率性						
			b						
9	体罰・いじめ対策	安全・安心な学校づくり	総合評価	・事業の実施により、いじめ、体罰等の問題はなかった。	大人の前と子ども同志の場合で態度が違う場合もあるので、注意する必要があるが、いじめ・体罰のとらえ方は子どもによって違うと思うので対応難しいが、継続して対応してほしい。	方向性	I	継続	・今後も、同学年や異学年と触れ合う教育活動を充実させ、友人や自分の良さに気づく活動として、豊かな人間関係を醸成するよう取り組む。 ・体罰については、各学校において教職員に体罰となる具体的事例をあげて研修する機会を設ける。
			A						
			必要性						
			a						
			有効性						
			a						
			効率性						
			a						

9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

区分	高等学校	基本目標 ②	生徒達一人ひとりの能力・適正及び進路希望に応じた教育活動を実践し、豊かな心の育成を目指して、様々な活動を体験させる地域の特色を生かした学校づくりに努めているところであり、小さな学校だからできる授業をめざし、高校全体で様々な取り組みを展開し地域と共に歩む高校をめざしていきます。			
No	事業名	事業目標	点検結果	課題・問題点等	評価委員の意見等	今後の方向性及びその方策等
1	類型別学習	地域や時代の要請に対応できる学校づくり	総合評価	・多様な進路希望を叶えるために必要である。	教員の努力により、一定の目的は達していると思われるので、今後も継続していただきたい。	方向性 I 継続
			A			・生徒の進路目標に対応するため、進学、就職コースのいずれかを選択させて効果的な学習を進め、20年度からは更に進学コース理系、文系の選択を行って、高い進路決定率を維持しており、今後も継続して実施していく。
			必要性			
			a			
			有効性			
			a			
			効率性			
			a			
2	習熟度別学習	地域や時代の要請に対応できる学校づくり	総合評価	・生徒個々の能力分布にばらつきが見られる。	年々前向きな学習姿勢が見られますので、今後も継続していただきたい。	方向性 I 継続
			A			・数学・英語の教科を習熟度別にクラス分けし、生徒個々の能力にあった学習内容で指導することで、学習に対する前向きな姿勢が育っており、苦手科目の克服や上級学校進学に効果が上がっていることから、今後も同様の内容で授業を進めていく。
			必要性			
			a			
			有効性			
			a			
			効率性			
			a			
3	情報教育	地域や時代の要請に対応できる学校づくり	総合評価	・パソコン及び周辺機器の更新による財政負担が必要となりますが、時代の要請に対応すべく、今後も継続した取り組みが必要である。	必要不可欠な時代であり、対応できる能力を育てるため、継続していただきたい。	方向性 I 継続
			A			・情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して情報に関する科学的な見方や考え方を養い、社会の中で情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力を育てる教育は、今日においては極めて重要であり、資格取得にも有効であることから、時代の要請に対応した授業として今後も継続して実施していく。
			必要性			
			a			
			有効性			
			a			
			効率性			
			a			
4	語学学習	地域や時代の要請に対応できる学校づくり	総合評価	・生徒間の学力格差が大きいため、指導の工夫が必要である。	相手との意思疎通を図る臨機応変な対応を養う事につながる事から、継続していただきたい。	方向性 I 継続
			A			・外国語指導助手を活用し、コミュニケーション英語や英語表現などの授業において、実践的な場面設定を行うことにより、文化の相違などについて生徒の異文化理解が深まっていることから、今後も同様の内容で指導を工夫しながら授業を進めていく。
			必要性			
			a			
			有効性			
			a			
			効率性			
			a			

9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

5	個々の実態に応じた多様な指導	地域や時代の要請に対応できる学校づくり	総合評価	・進学コース選択者数が増加し授業指導に工夫が必要である。	生徒の能力あった指導のため、希望者がいる限り継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・4大、短大、看護学校等の進学に向けて、希望者に対する0時間、土曜講習の実施、夏季、冬季講習の充実を図るとともに、補習等への対応を図る。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
			効率性					
			a					
6	学習支援員の配置	生徒の確かな学力の向上	総合評価	・各種講習も定着してきており顕著に学力向上に向かっている。	きめ細かな対応で学習意欲の向上が図られるので、継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・24年度からは朝学習を平日毎に、土曜講習も可能な限り実施回数を増やすなどの取り組みを行ってきており、28年10月から朝学習を6校時終了後の10分学習に切替え、今後も継続して学力向上に努めていく。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
			効率性					
			a					
7	特別支援員の配置	特別な教育的支援が必要な生徒の学力向上	総合評価	・支援が必要な生徒に支援をし、学習意欲の向上を目指す。	支援が必要な子どもたちのためにも継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・知的障害、情緒障害を持った生徒を中心に、他の支援が必要な生徒とともに学力向上を図っていく。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
			効率性					
			a					
8	検定受験料の補助事業	特色ある学校づくり	総合評価	・生徒の資格取得の意欲の向上が図られている。	資格取得に対する意欲が、学習意欲増加の動機付けとして良い影響を与えていると思われるので、継続いただきたい。	方向性	I	継続
			A			・平成18年度から実施している検定受験料助成について、生徒の資格取得に対する意欲が高まるとともに集中力が高まることで授業にも良い影響を与えている。また、介護職員初任研修（旧ホームヘルパー2級）受講料助成については平成21年度から実施している。今後も生徒の資質・就職率の向上を図る上でも継続して実施する。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
			効率性					
			a					

9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

9	通学費助成事業	特色ある学校づくり	総合評価	・財政負担が伴うものの、生徒確保の観点から今後も継続した実施が必要である。	生徒確保にも影響があると思われるので、継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・平成18年度から通学費助成を実施しているが、町内から通学する生徒の交通費（町スクールバス利用無料）、町外から通学する生徒の交通費（交通機関利用5割）を助成することにより通学費の負担軽減が図られ、強いては町外からの生徒を確保する上でも重要であることから、今後も継続して事業を実施する。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
10	国際交流派遣事業	国際理解教育	総合評価	・特色ある事業であるとともに、国際交流体験による生徒の成長が図られており、継続した実施が必要であるが、派遣人数等についてはニーズ把握を行い対応する必要がある。	派遣学生は高い目的意識を持ち、良い経験となっている。本事業に興味を持ち入学している生徒がいる限り、継続いただきたい。	方向性	I	継続
			A			・国際交流派遣事業については、意欲ある生徒が海外での交流体験を通して語学力の向上はもとより、国際感覚を養い、また精神的にも成長し周りの生徒にも良い影響を与えており、生徒の資質向上を図る上でも重要であることから、今後も継続して実施していく。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
11	学校行事の一般参加型による実施	地域と共にある学校づくり	総合評価	・平成27年度からの取り組みであり、行事内容等について参加しやすいものの検討を行いながら、継続した実施が必要である。	生徒自身がPR活動することも検討してみてもどうか。 又、中学校と連携し協力できるともっと良いものとなるのではないかな。	方向性	I	継続
			A			・学校のあり方等理解してもらう機会であることから、今後も継続して実施していく。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
12	大学との連携	生徒の学力意欲向上	総合評価	・岩見沢教育大学及び札幌国際大学と連携を結び教育実習やカーリングでの交流等により生徒への良い刺激となっている。	生徒の刺激になるとともに、身近に感じられると思われるので、継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・教育実習は、生徒の学力・意欲向上及び、部活動のカーリングの技術の向上のため、今後においても継続して実施していく。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					

9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

13	生徒確保	魅力ある 高校づくり	総合 評価	・入学希望者のニ ーズ把握及び PR 方法等について 検討が必要	卒業後の進路状況等をもっと PR すべきと思う。 地元以外の生徒確保のため、寮の整備も必要になると思う。	方向性	I	継続
			B			・教科書購入費の全額補助、通学費用の助成など保護者負担の軽減を図る取組を継続しつつ、通学が困難な地域からの入学希望者の情報等を把握し、対象者に対する家賃の助成等の措置を継続して実施する。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
			b					

9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

区分	生涯学習	基本目標 ③	今日的な過疎地域の課題、急激な少子高齢化や国際化・情報過多の中で、本町の豊かな自然や歴史・文化などを活用して、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、子どもから高齢者まで、住民一人ひとりが健康で生きがいある豊かな人生を送り、学習の効果が豊かな地域づくりに活かされるよう生涯学習の構築を目指します。					
No	事業名	事業目標	点検結果	課題・問題点等	評価委員の意見等	今後の方向性及びその方策等		
1	青少年に対する活動機会の提供	青少年の健全育成	総合評価	・学校、家庭、地域との相互連携による事業展開と、家庭教育力向上を踏まえた事業の実施が課題である。	活動や体験を発表できる場を検討していただきたい。 朝活事業は楽しみにしており、継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・青少年の健全育成を図るため、「少年の主張」や「青少年体験活動」への参加推奨を継続して行うとともに、様々な体験活動の提供を図りながら、今後も事業を継続していきます。また、体験活動の成果を発揮する場所づくりと、家庭教育力向上に資する事業展開を検討していきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
a								
2	友好の町沖縄県本部町との親善交流事業	友好の町沖縄県本部町との親善交流	総合評価	・修学旅行より先に実施することになったため、宿泊先でのマナーについて事前研修で指導することが必要である。	子どもたちには良い思い出になっているが、沖縄の歴史等について事前学習しながら、継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・風土、歴史、生活文化の違いを自ら体験し学ぶことは貴重な経験であることから、今後も両町の交流を深め学校授業に関連付けながら、事業を展開して行きます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
			効率性					
a								
3	成人教育事業	青年層・各種団体の育成と自主的な活動に対する支援	総合評価	・青年企画イベントについては、参加者の偏りが見受けられるため、幅広い職域から参加してもらえるように内容、実施時期について検討が必要である。助成団体については、社会教育事業等への関わりや参画について検討が必要である。	計画・企画の段階から、参加呼びかけ団体を交えて検討することが必要と思われる。又交流会等の財政負担についても検討する必要があるのではないか。	方向性	I	継続
			A			・次代のまっつくりを担う青年層が、自らの知識とスキルを向上させるために成人同士のネットワーク形成の場を引き続き提供するとともに、各種団体の育成と自主的な活動に支援を行っていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
a								
4	千里大学（高齢者大学）事業	高齢者の学習機会の提供	総合評価	・千里大学への継続した入学者を確保するために、授業内容等の工夫が必要である。	異世代交流を増やすことや公民館分館事業との連携について検討してみてはどうか。	方向性	I	継続
			A			・高齢者の持つ豊かな生活体験や人生経験を次世代に伝えていくことは、極めて重要なことであるため発表等の機会や授業内容等の充実を図りながら継続して実施していきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
			効率性					
a								

5	英会話教室	町民の国際理解と語学力の向上	総合評価	・より多くの町民の方に参加いただけるような授業内容の実施	中学生の参加を増やす取組みも検討しながら、継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・今後も、外国語指導助手(ALT)を活用し、授業内容の工夫と充実を図りながら継続して学習機会の場の提供に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			a					
6	芸術文化の振興	文化活動に対する支援と鑑賞事業の充実	総合評価	・関係団体の自主的活動の支援を継続するとともに、芸術文化の定着への取組みが必要	世代交代が必要であるが、引き継ぐ人材がいるのか。 舞台芸術鑑賞の振興のため、富良野演劇工場での鑑賞助成も検討してみようか。	方向性	I	継続
			B			・文化活動の促進を図るために関係団体への財政及び運営支援の継続、又富良野演劇工場を始めとする鑑賞事業等の継続による芸術文化の定着に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
7	公民館図書室	読書活動の推進	総合評価	・毎月定期的に新刊を購入し図書室へ配置しているが、情報発信をしていないことから、利用者への情報発信が必要である。	購入図書情報の広報が必要である。 町広報紙への掲載等について検討してみようか。	方向性	I	継続
			B			・富良野沿線5市町村で行っている視聴覚ライブラリー事業と利用者ニーズに合った図書充実に努めながら、道立図書館やボランティア団体と連携した蔵書整理と環境整備を行います。 又、新刊図書の情報発信を行い、ニーズに合った図書の整備による読書意欲の向上に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
8	公民館分館事業	地域の特性を活かした活動の推進	総合評価	・各地域で事業は実施されているが、地域において事業数及び内容の偏りが生じている。	町内会等とも連携した事業の実施を検討してみようか。 内容についても参加人数の少ないものについては変更等の検討してみようか。	方向性	I	継続
			B			・各地域の特色を活かした事業が実施されるよう地域と連携しながら、公民館分館活動の活性化が図られるよう支援に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
			b					

9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

9	住民自主企画活動支援事業	住民の自主的活動に対する支援	総合評価	・より多くの町民の方に利用していただけるように、制度周知が必要である。	事業支援は必要と思われるが、毎年同じ内容が変わっていないので、制度周知についても検討し広く活用できるようにしてほしい。	方向性	I	継続
			A			・今後も事業推進に向けて情報発信に努め、住民の自主的活動を支援しながら個人・団体活動の促進に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
			a					
10	郷土資料室	郷土資料の保存・展示	総合評価	・見学利用しやすい環境整備（場所の移転）	移転場所や公開方法を検討してほしい。	方向性	I	継続
			B			・昨年8月に発生した台風災害により、高齢者研修センター1階が被害を受け使用できない状況であり、かつ老朽化が著しいため取り壊しが予定されていることから、新たな場所の選定を踏まえ利用しやすい環境づくりの検討に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			c					
			効率性					
			a					
11	スポーツ教室	各種スポーツの振興	総合評価	・スポーツ教室の開催内容及び開催方法	可能な種目については、関係団体へ移管して実施することも検討してみてもどうか。	方向性	I	継続
			B			・町民の方が心身共に健康で明るく充実した生活を維持していくために、健康づくりとスポーツに親しむことができる環境整備をスポーツ関係団体と連携を図りながら、本町の特性を活かしたスポーツの促進と競技人口の普及に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
			b					
12	スポーツ大会	各種スポーツの振興	総合評価	・年々参加者が減少しているため、競技内容及び種目等検討が必要である。	可能な種目については、関係団体へ移管して実施することも検討してみてもどうか。 その場合は大会開催資金の助成についても検討願いたい。	方向性	I	継続
			B			・町民の方が心身共に健康で明るく充実した生活を維持していくために、健康づくりとスポーツに親しむことができる環境整備をスポーツ関係団体と連携を図りながら、本町の特性を活かしたスポーツの促進と競技人口の普及に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
			b					

9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧

13	アスリート補助金	各種スポーツの振興	総合評価	・より多くの町民の方に利用していただけるよう、制度周知が必要である。	支給基準等の制度内容について周知しながら、継続していただきたい。	方向性	I	継続
			A			・補助金を適正に執行するための申請事務や、制度周知を行いながらスポーツ技術力の向上やアスリートの育成支援を継続してまいります。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
14	スポーツ少年団活動	子ども達の心身の健全な育成	総合評価	・少子化及びスポーツ離れによる各少年団加入児童数が減少傾向にあり、併せて指導者も不足している現状にある。	指導者の育成と確保さらには資金面の支援を願いたい。 少年団で頑張っても中学校では活動の継続が出来ていないものもあり、連携した取り組みになると良いのではないかな。	方向性	I	継続
			A			・少年団本部や町体育協会等と連携しながら少年団活動の継続を図るべく継続した財政的な支援と、指導者育成のための施策の検討に努めていきます。		
			必要性					
			a					
			有効性					
			b					
			効率性					
			a					

10 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

前年度の点検・評価対象事務・事業のうち、今後の方向性で廃止、休止、完了とした事務・事業以外の当該年度における点検・評価の結果及び方向性は次のとおりです。

(1) 当該年度点検・評価対象事務・事業

前年度点検・評価対象事務・事業名 (廃止、休止、完了事務・事業を除く)		前 年 度		当 該 年 度		備 考
		総合 評価	方向性	総合 評価	方向性	
1. 学校教育						
①	南富良野小学校	—	—	A	継続	新規
②	南富良野西小学校	—	—	A	継続	新規
③	南富良野中学校	—	—	A	継続	新規
④	体力プランの作成	—	—	A	継続	新規
⑤	学校の耐震化	A	継続	A	継続	
⑥	食の安全	B	継続	A	継続	
⑦	食育	—	—	A	継続	新規
⑧	給食費の助成	A	継続	A	継続	
⑨	体罰・いじめ対策	A	継続	A	継続	
2. 高等学校教育						
①	類型別学習	A	継続	A	継続	
②	習熟度別学習	A	継続	A	継続	
③	情報教育	A	継続	A	継続	
④	語学学習	A	継続	A	継続	
⑤	個々の実態の応じた多様な指導	A	継続	A	継続	
⑥	学習支援員の配置	A	継続	A	継続	
⑦	特別支援員の配置	A	継続	A	継続	
⑧	検定受験料の補助事業	A	継続	A	継続	
⑨	通学費助成事業	A	継続	A	継続	
⑩	国際交流派遣事業	A	継続	A	継続	
⑪	学校行事の一般参加型による実施	A	継続	A	継続	
⑫	大学との連携	A	継続	A	継続	
⑬	生徒確保	—	—	B	継続	新規

10 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

3. 生涯学習						
①	青少年に対する活動機会の提供	A	継続	A	継続	
②	沖縄県本部町との親善交流事業	A	継続	A	継続	
③	成人教育事業	B	継続	A	継続	
④	千里大学（高齢者大学）事業	A	継続	A	継続	
⑤	英会話教室	B	継続	A	継続	
⑥	芸術文化の振興	B	継続	B	継続	
⑦	公民館図書室	B	継続	B	継続	
⑧	公民館分館事業	A	継続	B	継続	
⑨	住民自主企画活動支援事業	A	継続	A	継続	
⑩	郷土資料室	B	継続	B	見直し	
⑪	スポーツ教室	A	継続	B	継続	
⑫	スポーツ大会	A	継続	B	継続	
⑬	アスリート補助金	A	継続	A	継続	
⑭	スポーツ少年団活動	A	継続	A	継続	

(2) 当該年度点検・評価対象事務・事業について

前年度点検・評価対象とした事務・事業で、当該年度においても対象となった事務事業は、全部で 30 事務・事業でありました。前年度総合評価で「A」と評価した 24 事務・事業のうち、当該年度「A」評価が 21 事務・事業、「B」評価が 3 事務・事業、前年度「B」と評価した 6 事務・事業のうち当該年度「A」評価が 3 事務・事業、「B」評価が 3 事務・事業、又、今後の方向性で前年度「継続」と示した 30 事務・事業のうち、当該年度「継続」が 29 事務・事業という結果でありました。

なお、学校教育の事業目標「確かな学力の向上」については、南富良野西小学校の開校により学校毎の事務事業としたことから、「新規」として記載しています。

11 学識経験者

平成 28 年度教育委員会事務の管理及び執行の状況における点検・評価の方法や結果等について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者として南富良野町教育委員会教育行政評価委員から意見等を聴取し、知見の活用を図っています。

1. 南富良野町教育委員会教育行政評価委員

氏 名	職 業 等
河 原 希 美	団体臨時職員（中（保体）教諭 2 種免許所有）
西 山 雅 明	無職（南富良野町社会教育委員長）

2. 意見聴取日等

日 時	場 所
平 成 29 年 8 月 30 日	南富良野町役場 小会議室
平 成 29 年 9 月 6 日	南富良野町役場 小会議室
平 成 29 年 10 月 11 日	南富良野町役場 小会議室

3. 意見の内容

（1）各事務・事業ごとの点検・評価に関することについて

各評価委員から点検・評価に対し出された意見の内容については、「9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果一覧」に記載しています。

12 教育委員会の組織

1 教育委員会委員（平成 28 年度在籍者）

職 名	氏 名	任 期	保護者	備 考
委 員	河野 高好	平成 26 年 10 月 1 日～ 平成 30 年 9 月 30 日		第 3 期目
委 員	柴田 昭江	平成 28 年 11 月 16 日～ 平成 32 年 11 月 15 日		第 1 期目
委 員	齋藤 忠宏	平成 24 年 11 月 16 日～ 平成 28 年 11 月 15 日		第 3 期目 (年度内任期満了)
委 員	久保田宏孝	平成 25 年 10 月 1 日～ 平成 29 年 9 月 30 日		第 3 期目
委 員	大神 裕全	平成 27 年 10 月 1 日～ 平成 31 年 9 月 30 日	○	第 1 期目
教育長	上林 康政	平成 24 年 11 月 16 日～ 平成 28 年 11 月 15 日		第 1 期目 (年度内任期満了)
教育長	岩渕 秀一	平成 28 年 11 月 16 日～ 平成 31 年 11 月 15 日		第 1 期目

2 事務局組織（平成 28 年度現在）

